

令和 6 (2024) 年度協議会事業(案)について

総事業費：9,617 千円

文化庁補助事業(65%補助)【予算額：1,980 千円】※うち補助金 1,287 千円

事業名 インバウンド向けサイクルツアー整備事業

予算額 935 千円

【目的】

インバウンドを対象としたサイクルツーリズムの推進

【事業内容】

炭鉄港の構成文化財や炭鉄港めしを巡るサイクルツアーのコースを造成し、モデルツアーを行う。モデルツアーでの意見を反映させ、コースマップを作成し HP に掲載するほか、次年度以降、海外旅行会社によるファミトリップを実施し、将来的には自動車メーカー関連旅行会社でのツアーとしての販売を目指す。

3年計画で実施し、2年目はガイド育成も含めた環境整備、最終年度には海外からのモニターツアーを造成。

◆ 委託事業

① コース作成

- ・ コース本数：6本
- ・ ロードバイクで走ること自体を目的とする「ガチ勢」のコースと、ホテルを起点に地域を e-bike で周遊する「ライト層」向けのコースを造成

② モデルツアーの実施

- ・ 造成したコースを巡るモデルツアーを開催し、参加者から意見聴取する

③ コースマップの作成

◆ 自主事業

① 炭鉄港推進協議会ホームページでコースマップを公開

② 次年度以降の誘致活動に活用

事業名 炭鉄港深掘りコンテンツ構築事業

予算額 1,045 千円

【目的】

炭鉄港ストーリーに関する新たなスポット掘り起こしによる周辺地域への周遊性向上、滞在時間の長時間化、また、炭鉄港ガイド養成事業による観光客の満足度向上を狙う

【事業内容】

「炭鉄港の最深部へ」をコンセプトに、構成文化財にはなっていないが、炭鉄港のストーリーに深く関わるスポットやサブストーリーを整理し、同年に実施するサイクリングツアーや自主事業で実施するガイドツアーの造成に活用する。

また、観光庁事業でのガイド養成事業において、上記要素を取り入れた講習を実施する。

◆ 委託事業

「炭鉄港準構成文化財」スポットの整理

- ・ 炭鉱の記憶事業で整理したスポットの更新及び追加
- ・ 小樽、室蘭、安平のスポット追加

◆ 自主事業

JR ヘルシーウォークと連携したガイド付きミニツアー

(小樽市、室蘭市、岩見沢市、江別市、安平町)

観光庁補助事業(定額補助) 【予算額：6,473 千円】 ※うち補助金 5,237 千円

事業名	炭鉄港地域観光新発見事業
予算額	6,473 千円
<p>【目的】 炭鉄港地域を訪れるすべての人が炭鉄港の魅力を理解できる環境の整備</p> <p>【事業内容】</p> <p>① プレミアムガイドツアーの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 非公開施設を対象としたツアー造成 ・ ハンター付きのガイドツアーの造成 ・ ガイド養成事業の実施(空知、小樽、室蘭のガイドを対象とした視察及び講習会を実施) ・ インフルエンサーによるPR <p>② 炭鉄港関連施設のかつての姿を復元するARコンテンツの制作、ARと連携した多言語解説作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料の残存状況などを踏まえ、未実施地域から3カ所程度選定(候補地：岩見沢操車場跡、月形囚人道路、江別市) <p>③ 岩見沢教育大と連携したアートイベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度に実施の「未来へ”つながる”炭鉄港 魅力発掘事業」を踏まえ、岩見沢市でアートイベントを実施 	

協議会自主事業 【予算額：1,164 千円】

事業名	炭鉄港カード事業
予算額	430 千円
<p>【目的】 炭鉄港カードの第4弾を配布し、炭鉄港地域の周遊促進効果を高める</p> <p>【事業内容】</p> <p>① カードの作成</p> <p>② ポスター、チラシの作成</p> <p>③ 施設への入館、商品の購入を要件としたホログラムカードの配布</p> <p>④ コンプリート者等を対象とした炭鉄港カードキャンペーンの開催</p>	

事業名	炭鉄港めしスタンプラリー
予算額	340 千円
<p>【目的】 炭鉄港めしを提供する店舗を巡るスタンプラリーを実施し、地域への経済効果波及を狙う</p> <p>【事業内容】</p> <p>① 本年と同様の仕様(LINEのショップ機能を活用)、開催期間で実施</p> <p>② ポスター、チラシの作成</p> <p>③ コンプリート者等を対象としたキャンペーンの開催</p>	

事業名	日本遺産相互連携事業
予算額	100 千円
<p>【目的】 関連する日本遺産と相互の情報発信や視察等に取り組み、認知度向上や相互送客を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <p>① 日本遺産連盟負担金、日本遺産サミットへの参加費用(旅費は原則参加を希望する市町で支出)</p> <p>② 道内の日本遺産やテーマが共通する産業遺産(銀の馬車道等)との相互の情報発信や、視察の実施</p>	

事業名	その他消耗品費など(予備費含む)
予算額	294 千円